

リードギターのアレンジ メロウ系リードギター

メロウ系リードギターの名演

- Still In Love / イザイア・シャーキー
- Chill Guitar Improvisation / 有賀教平
- Feel Like Makin' Love / 宮脇俊朗(カバー)

要チェック！！

「メロウ系リードギター」とは？

- 極上の甘いクリーントーン
- ジャズ、ソウル等から影響を受けたお洒落な音遣い
- 表情豊かで色気のあるプレイ

サウンドメイク



レスポール系音源を使ったかったがサウンドが重かったなのでテレキャス系音源のフロント使用。
上手くハマらない場合は他の音源を使うのも一つ。

アンプはTwang Reverb。甘くて太いクリーン、強いピッキングでわずかに歪みかけるくらいのセッティングを目指す。
Brightスイッチをオンにするがトレブルは下げ目でバランスを取る。
アンプ前段に倍音や甘さを加えるためにGain Booster、アタックやサスティンを稼ぐためにStomp Compressorを
インサート。テレキャスの音をレスポールに近づけるべく、ハイのキツさを押さえつつもこもらないように気を付けて調整。

DAW側で100Hz以下をローカット、3.5kHzを大きくカット、1.5kHzをブースト。更にディレイ、リバーブを深めに掛けて完成。

「ネオソウル」風リードギター

アレンジの特徴

- ダブルストップ（重音）を多用
4度感覚でチューニングするため、4度でのダブルストップはこのジャンルでの定番。
ブルーノートをさりげなく絡めるフレーズも定番。2小節目の3連の連続トリルはDavid.T.Walker氏のお得意フレーズ。バックিংでもよく使われ、その際はコードを鳴らしながら弾くことが多い。ジャスト3連より突っ込んだ方がそれらしくなる。
- 強弱の差が大きい
ピッキングの強弱による音色変化が魅力。
- チョーキングを使わない
ジャズ（太い弦を使うのでチョーキングしないのが通例）から影響を受けているため。
細い弦も使うので全くチョーキングしないわけではないが、ジャズテイストのお洒落なフレーズを弾くにはチョーキングしない方がそれらしくなる。

「ネオソウル」風リードギター

打ち込みのポイント

ピッキングによる音色変化がこのジャンルの醍醐味。
他ジャンルよりベロシティは広めに打つ方が良い。

シャッフルのタイミングは80%くらいを目安に、フレーズによってスクエアに寄せたり変化させると良い。3小節目は3度和音のダブルストップ。同じリズムを繰り返すが、フレーズを繰り返す中でスクエアよりからシャッフルよりにウラのタイミングを変化させたり、ベロシティもランダムに変化させている。

最後の和音のビブラートは1弦側は緩め、3弦側を強めに打った。
弦のテンションが1弦の方がきつく。実演奏でもそうなるからである。

その他これまで学んだ通り基本を押さえて打ってみよう。

「ネオソウル」風リードギター

Inspector

Visibility

22. 2. 4. 119 22. 3. 4. 111 0. 0. 3. 112 F#3 70 1 64 オフペロシティー アーティキュレーション リリース速度 音色 アキスト

残り録音時間 2:02 再生形式 48 kHz - 24 bit プレームレート 30 fps プロジェクトのパン補正 均等パター

設定

グリッド

1/16 3 連打

47 / 41

ミュートのアーティキュレーション

S S S Vib. HP g. 3連トリル g. S S S P H S P H Vib.

Vib.

バンド幅の違う箇所はトラックを分けて打ち込み

S S S Vib.

メディア

メーター

VST インスト VST エフェクト

ループ プリセット

ユーザーノート ファイル、ザー

お気に入り

トラック エディター

Standard

20. 4. 3. 0 25. 3. 1. 40 20. 1. 1. 0 0:00:34.029 76.000